

1) システムの名称：

文書作成システム DocuMaker（ドキュメーカー）

2) 対象業務、電子カルテシステム内での位置付け：

1 2. 診療録など管理系

3) 特色：

文書作成システム DocuMaker は、院内にあふれる煩雑な書類作成業務をすべて解決します。これまで手書きしていた書類もフォーマット作成をすることで電子化することができ、HIS データを利用することで記載の省力化をシームレスに実現します。また、記載内容の全項目を DB 管理して、統計・経時分析に拡張利用することができます。Web ブラウザ方式により、異なるプラットフォームにも柔軟に対応します。

4) 画面／構成図を含めた分かりやすい説明：

■他職種間、チーム横断で文書を作成し共有

豊富な提供書式&ユーザー作成書式でどんな書類にも対応

ユーザー自身で書式が作成できるので、費用をかけることなく、紙文書や PDF・Word・Excel 文書をシステム化することができます。

1 つのシステムで院内の様々な運用にも柔軟に対応

複数の部門システムを導入しなくても、DocuMaker1 つで院内のあらゆる文書を記載・管理できるので、導入費用を抑えシンプルに管理できます。

記載内容をデータベース管理し、様々な用途に二次利用

文書へ入力された内容は、テキスト文字だけでなく選択肢まで全て含めて統計抽出が行えます。



■文書管理一覧…入院関連文書、褥瘡関連文書、NST 関連文書、リハビリ関連文書

入院や NST などのチーム医療において必要となる文書の作成状況を様々な角度から参照し作成漏れを防止します。文書毎に作成者の職種を設定し管理できます。

管理一覧

文書ID	患者氏名	医師	作成日時	ステータス
0000000001	田中 太郎	山田 一郎	2023/01/01 10:00	完了
0000000002	田中 太郎	山田 一郎	2023/01/01 10:05	完了
0000000003	田中 太郎	山田 一郎	2023/01/01 10:10	完了
0000000004	田中 太郎	山田 一郎	2023/01/01 10:15	完了
0000000005	田中 太郎	山田 一郎	2023/01/01 10:20	完了
0000000006	田中 太郎	山田 一郎	2023/01/01 10:25	完了
0000000007	田中 太郎	山田 一郎	2023/01/01 10:30	完了
0000000008	田中 太郎	山田 一郎	2023/01/01 10:35	完了
0000000009	田中 太郎	山田 一郎	2023/01/01 10:40	完了
0000000010	田中 太郎	山田 一郎	2023/01/01 10:45	完了

【運用例】

- ・入院診療計画書
- ・褥瘡管理
- ・栄養管理
- ・退院支援など

記載画面



■生損保診断書ワークフロー管理…生損保診断書、臨床調査個人票、小児慢性特定疾病医療意見書、公的診断書など

書類作成のステータス管理と作成漏れのチェックを行うことができます。生命保険協会に登録されている診断書はもちろん、各自治体へ提出する公的診断書にも対応します。（生保協会認定ソフト）

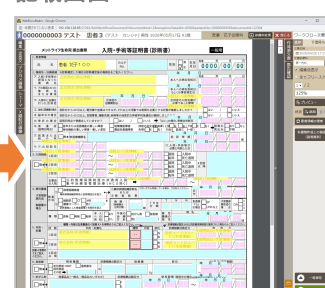
【提供可能コンテンツ】

1. 生損保診断書 : 約 1,400 種類
2. 臨床調査個人票、小児慢性特定疾病医療意見書 : 2,088 種類
3. その他全国公的診断書 : 約 6,800 種類

依頼一覧画面

依頼ID	患者氏名	依頼内容	依頼日時	ステータス
0000000001	田中 太郎	生損保診断書	2023/01/01 10:00	完了
0000000002	田中 太郎	臨床調査個人票	2023/01/01 10:05	完了
0000000003	田中 太郎	小児慢性特定疾病医療意見書	2023/01/01 10:10	完了
0000000004	田中 太郎	公的診断書	2023/01/01 10:15	完了
0000000005	田中 太郎	生損保診断書	2023/01/01 10:20	完了
0000000006	田中 太郎	臨床調査個人票	2023/01/01 10:25	完了
0000000007	田中 太郎	小児慢性特定疾病医療意見書	2023/01/01 10:30	完了
0000000008	田中 太郎	公的診断書	2023/01/01 10:35	完了
0000000009	田中 太郎	生損保診断書	2023/01/01 10:40	完了
0000000010	田中 太郎	臨床調査個人票	2023/01/01 10:45	完了

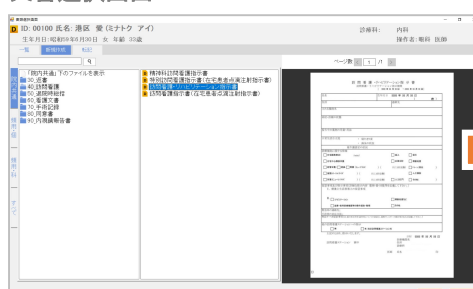
記載画面



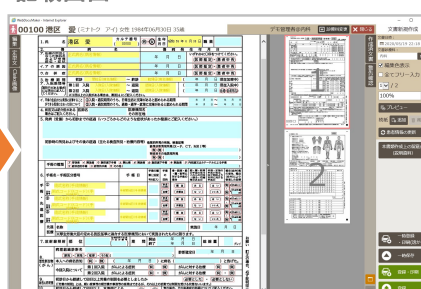
■文書作成…死亡届・死産届・出生届、同意書・説明書、各種記録・文書、報告書など

対象文書の制限なく、様々な機能を使って用途に応じた文書記載が行えます。電子カルテから処方や検体検査結果情報を取得して文書へ引用できる他、過去に作成した文書から内容を引用・転記できます。過去文書のプレビューを別ウィンドウで開き、画面を並べて閲覧することもできます。

文書選択画面

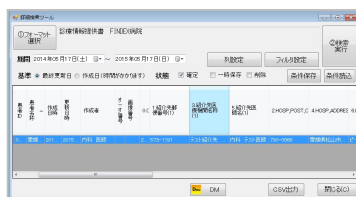


記載画面



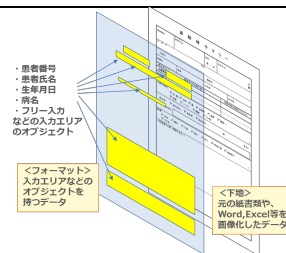
■統計機能でデータを二次利用

DocuMaker で作成された文書であれば、文書内の入力項目毎に抽出できます。CSV 出力も可能なので、抽出結果を元にデータ分析が行えます。



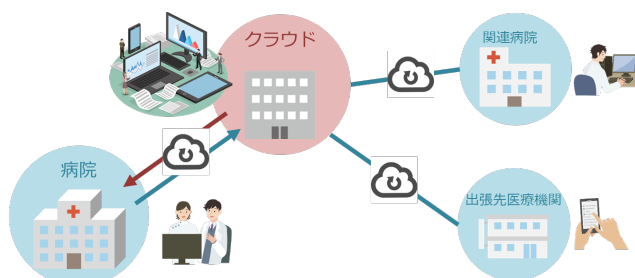
■文書フォーマット

紙文書をそのままフォーマット情報として利用できるので、作成の手間がかかりません。特殊技術も不要なので、病院内で簡単に新しい書類を作成することができます。



■複数の異なるプラットフォームに対応

文書管理システムのクラウド化に向けて Web ブラウザを採用しました。端末環境に依存しない情報提供、外出先における使い慣れた環境での診療記録の記載・参照など、利用用途やシーンに合わせた様々なプラットフォームに対応し、システム運用に関わる工数・コストの削減、業務のスピードアップを目指します。Web ブラウザ方式では、閲覧した診療データや入力データを端末本体に残すこともない為、高いセキュリティを確保できます。



5) 標準化への対応状況、未達成の場合対応予定および対応のための追加費用の有無：

- ・ HL7 形式による患者検索
- ・ HL7 CDA
- ・ SS-MIX ストレージ利用範囲：ストレージ作成

6) 動作環境（ソフトの場合）、ハードスペック（ハードの場合）：

■サーバ構成

シングルサーバ構成（※必要に応じてウォームスタンバイ構成、クラスタ構成、仮想環境）
オペレーティングシステム：Windows Server 2019 Std

DBMS：Microsoft SQL Server 2019 Std

CPU：Intel® Xeon® Processor E5-2623 v3 (10M Cache, 4C/3.00 GHz) 以上

メインメモリ：16GB 以上

HDD：3.2TB(実行容量) 以上

■クライアント構成 ※電子カルテ相乗りを想定の為、推奨スペックを記載

オペレーティングシステム：Windows10

CPU：Intel Pentium プロセッサ 以上

メインメモリ：4GB 以上推奨

画面解像度：SXGA(1280×1024) 以上

7) 稼働までに必要な作業・期間：

病院担当者様及び HIS メーカー様と打合せ（5～6 回程度）・通常 4～6 か月程度

8) 価格（桁数（日本円における桁数）、「ご相談」は不可、桁数帯・金額・金額帯を入れても良い）：

ソフトウェア・導入作業費用：7～8 桁

9) 保守の内容と費用：

■保守内容

対応内容：稼働時初期教育（オペレーション説明、マニュアル配布）、運用開始時立会い
障害発生時の電話サポート、リモート又はオンサイト対応、毎月のログ確認

前提条件：リモート接続可能な保守用 VPN 環境が有る場合

■保守費用

システム規模、保守内容によって異なります。

10) 問い合わせ先（販売会社 担当者、URL、e-mail 等）および開発元（もし別途あれば）：

株式会社ファインデックス

<https://findex.co.jp>

事業所：東京本社、四国支社、大阪支店、福岡支店、札幌支店、那覇支店、京都支店、新潟支店

※弊社 HP のお問合せフォーム（医療システム・サービス）をご利用ください。

https://findex.co.jp/inquiry/inq_pro.html